

東京科学大学 教育改善に関するアンケート 令和6年度3月修了予定者 〈理工学系・専門職学位課程〉

教育本部・戦略本部 IR部門

目次

1. 基本統計量.....	4
1.1 学生種別	4
2. 問1. 課程における目標について.....	4
2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた.....	4
2.2 2) 入学時点の, 又は在学中に見つけた現在の課程における目標を, 達成できた.....	4
3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について.....	4
3.1 1) 学習環境 (主に施設・設備面) に満足している.....	4
3.2 2) 就職指導 (または就職に関する情報提供) に満足している.....	5
3.3 3) 大学事務局 (学務部・図書館等) のサービスに満足している.....	5
3.4 4) 研究活動に満足している	5
3.5 5) 研究環境 (主に施設・設備面) に満足している.....	5
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足している.....	6
3.7 7) 国際経験 (短期留学を含む) に満足している.....	6
3.8 8) 体育館, プール, グラウンド等の施設・設備面に満足している.....	6
3.9 9) 食堂, 購買等の施設・設備面に満足している.....	6
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している.....	7
3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している.....	7
3.12 12) 論文・研究指導に満足している.....	7
4. 問3. 教育について.....	7
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた.....	7
4.2 2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた.....	8
4.3 3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた.....	8
4.4 4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた.....	8

4.5	5)	自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している.....	8
4.6	6)	★文系教養科目の授業に対して満足している.....	9
4.7	7)	★キャリア科目の授業に対して満足している.....	9
4.8	8)	自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している.....	9
5.	問4.	英語による授業実施について.....	9
5.1	1)	大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。.....	9
6.	問5.	クォーター制及び学外活動に関して.....	10
6.1	1)	クォーター制による週2回授業（講義）に満足している.....	10
6.2	2)	クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している.....	10
6.3	3)	クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる.....	10
6.4	4)	クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる.....	10
6.5	5)	在学中に、本学が定めた「国際経験」を、留学、国際会議での発表、留学生との交流、外国人教員・研究者による講義や講演への参加などにより修得した.....	11
6.6	6)	インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある.....	11
6.7	7)	ボランティア活動をしたことがある.....	11
7.	問6.	現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて.....	11
7.1	1)	自身の専門分野の概要・研究手法等を経済社会システムにおいて応用できるようになった.....	11
7.2	2)	自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった.....	12
7.3	3)	科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた.....	12
7.4	4)	新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった.....	12
7.5	5)	与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった.....	12
7.6	6)	周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった.....	13
7.7	7)	互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった.....	13
7.8	8)	複数の視点で事象を整理することができるようになった.....	13
7.9	9)	論理的な思考で分析できるようになった.....	13
7.10	10)	科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた.....	14

7.11 1 1)	科学技術と産業に関するイノベーションの創出やビジョンの策定ができるようになった	14
7.12 1 2)	課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	14
7.13 1 3)	自らの知識や技能を活用できる, 又は実践的な問題を解決できるようになった	14
7.14 1 4)	グローバルな問題と自身の関わり等を理解し, 新しい価値観を知ることができた	15
7.15 1 5)	自身と異なる慣習, 常識等を理解し, 他者と協働できるようになった	15
7.16 1 6)	外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	15
8.	問7. 大学院課程の修了後について	15
8.1 1)	将来的に国際的な業務や活動*をすることに興味を感じていますか。	15
8.2 2)	将来的に起業*することに興味を感じていますか。	16

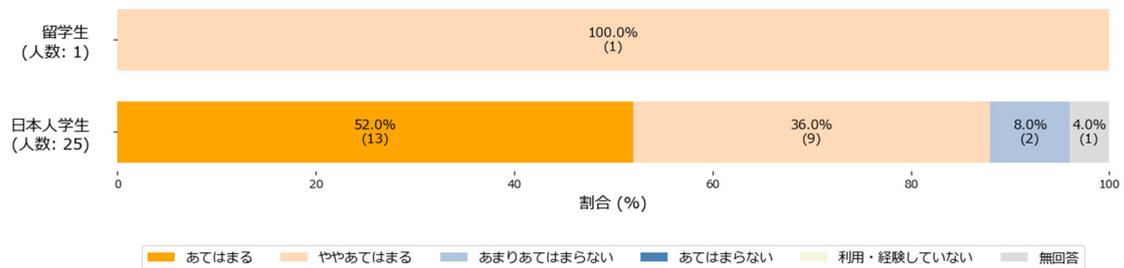
1. 基本統計量

1.1 学生種別

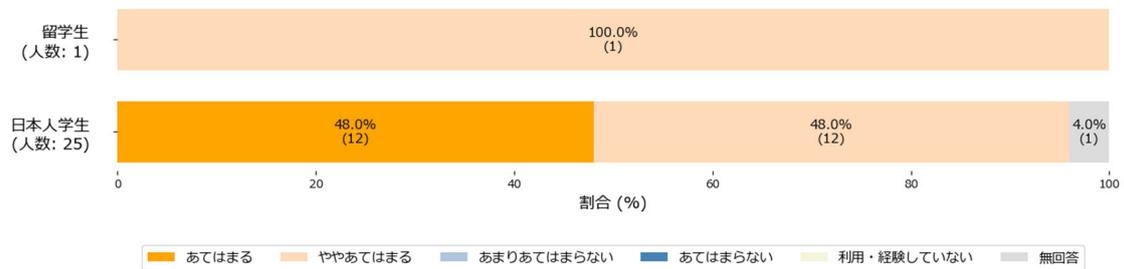


2. 問1. 課程における目標について

2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた

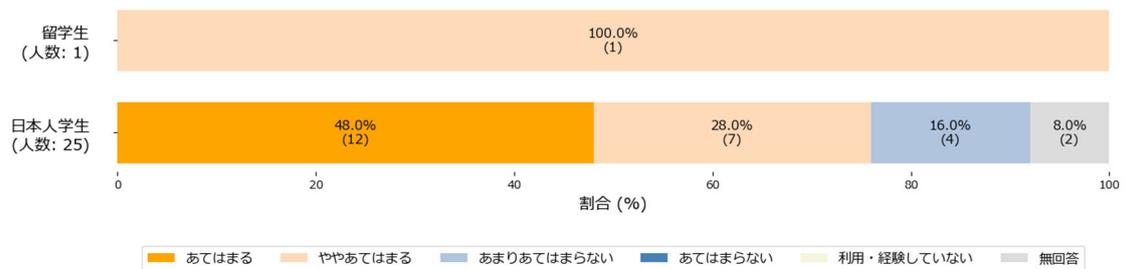


2.2 2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた

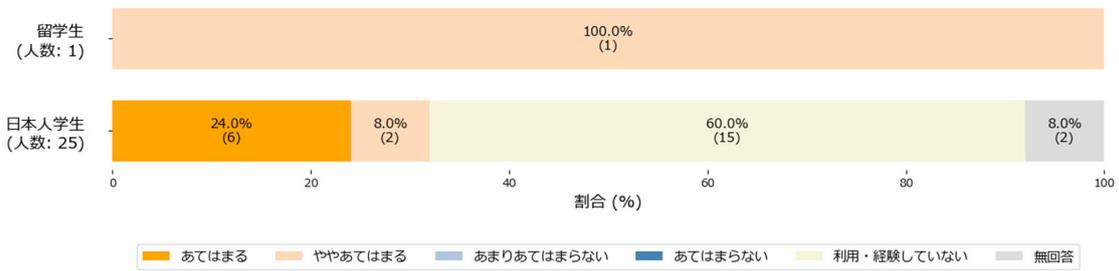


3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について

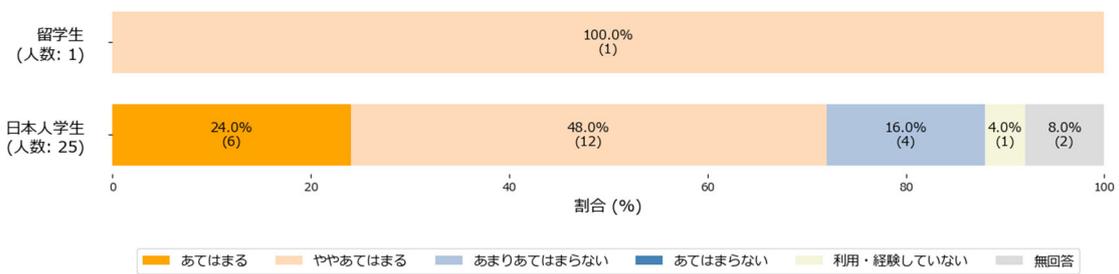
3.1 1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している



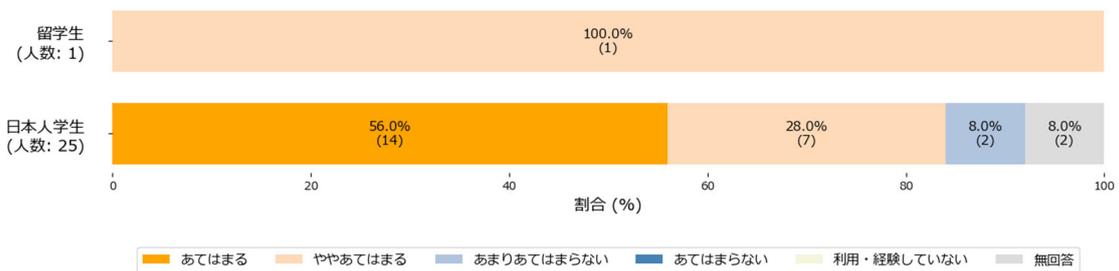
3.2 2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している



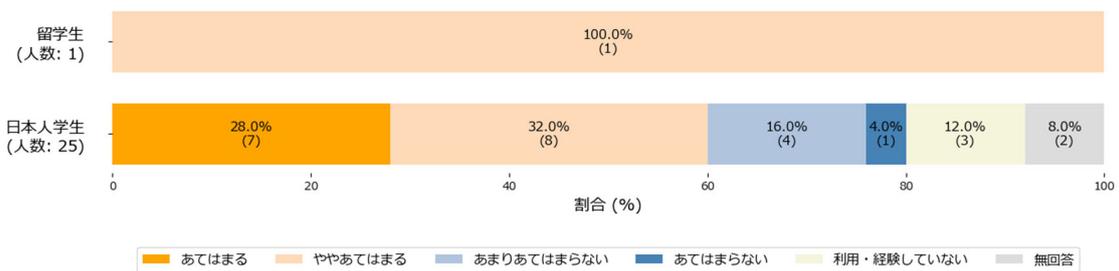
3.3 3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している



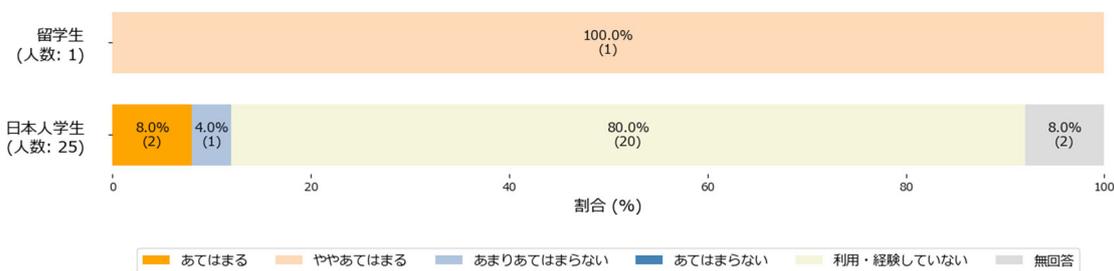
3.4 4) 研究活動に満足している



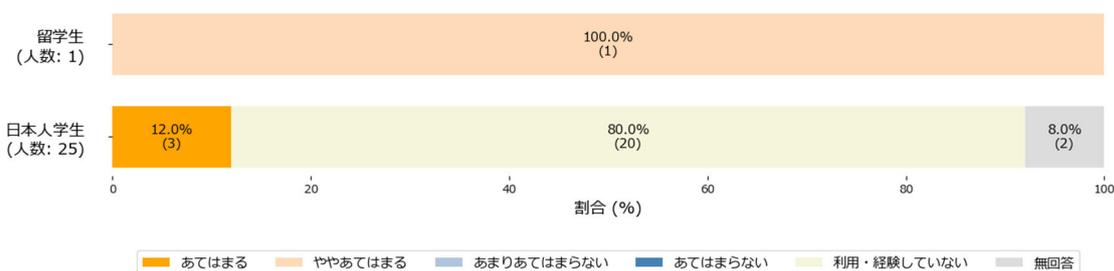
3.5 5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している



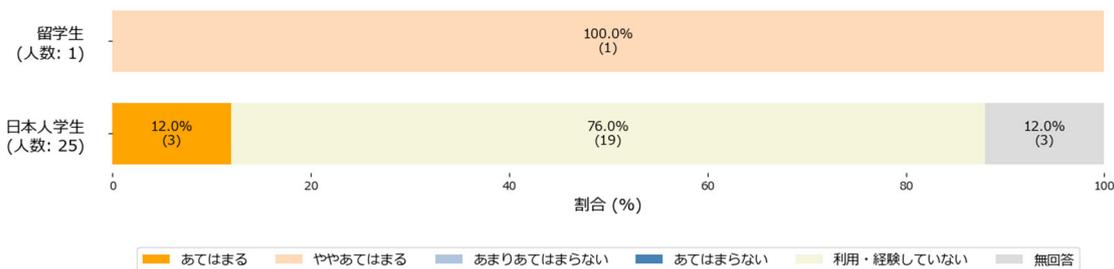
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足している



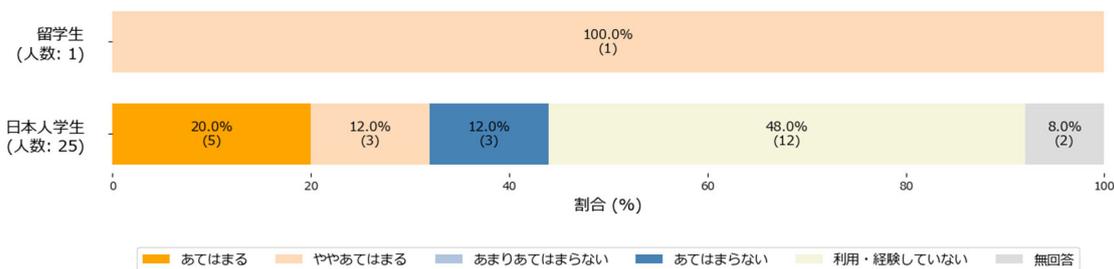
3.7 7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している



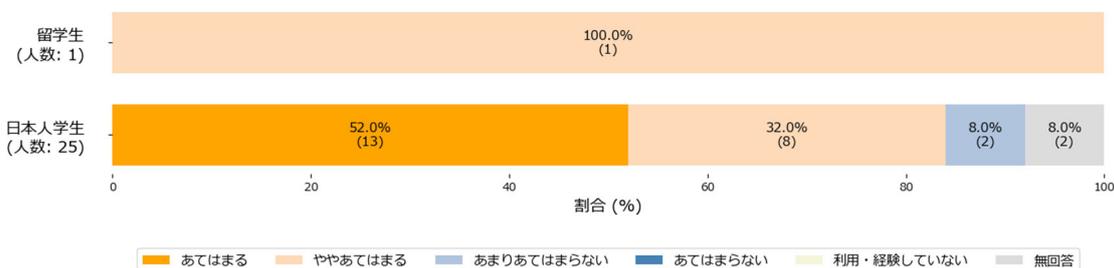
3.8 8) 体育館，プール，グラウンド等の施設・設備面に満足している



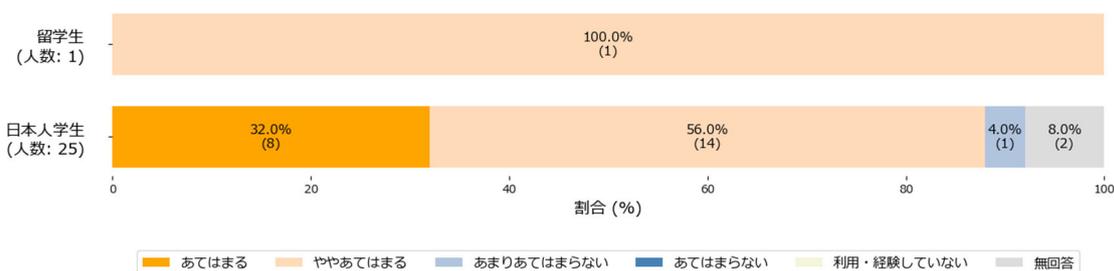
3.9 9) 食堂，購買等の施設・設備面に満足している



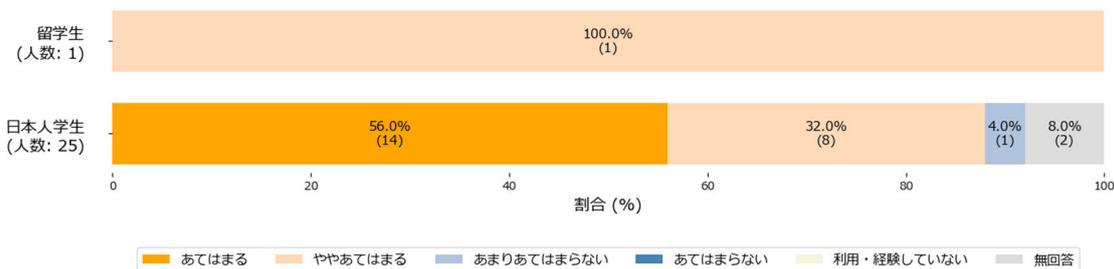
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している



3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している



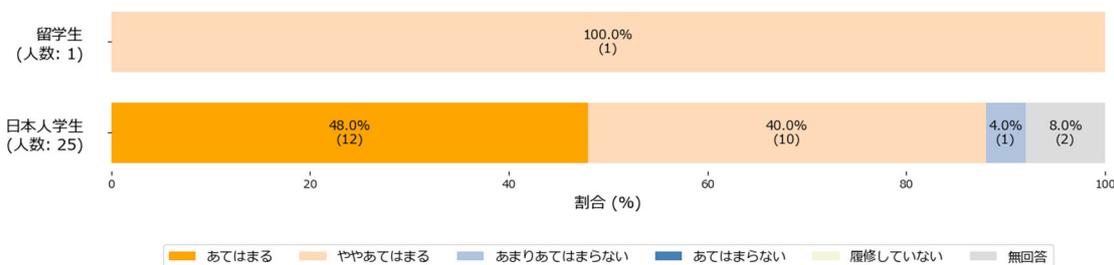
3.12 12) 論文・研究指導に満足している



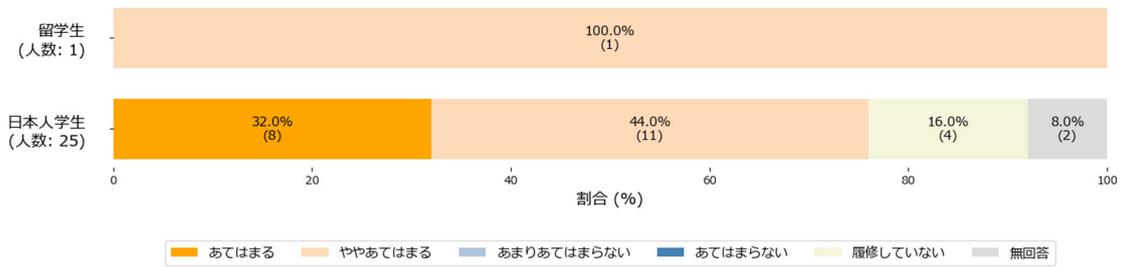
4. 問3. 教育について

- ★を付した質問項目は、平成28年度以降入学の方を対象としています。

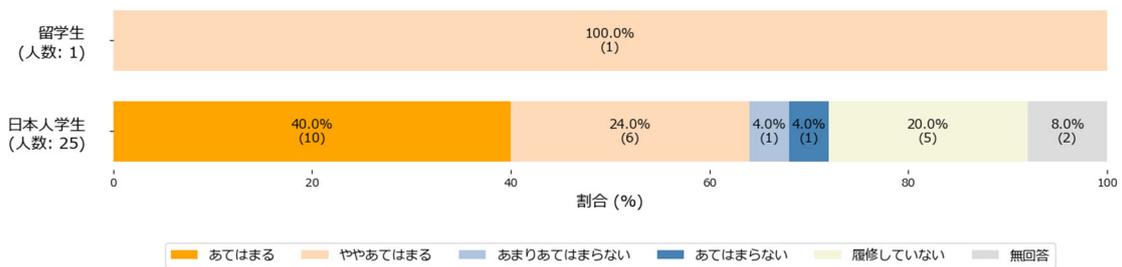
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた



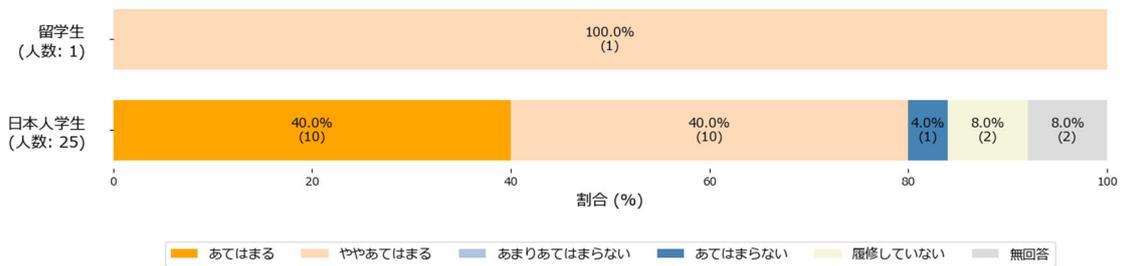
4.2 2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた



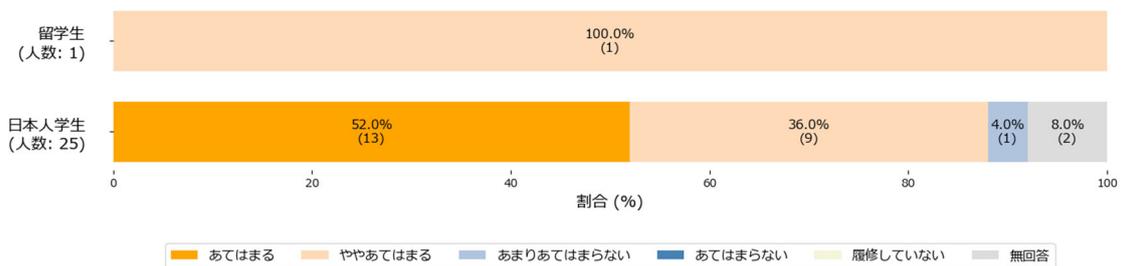
4.3 3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた



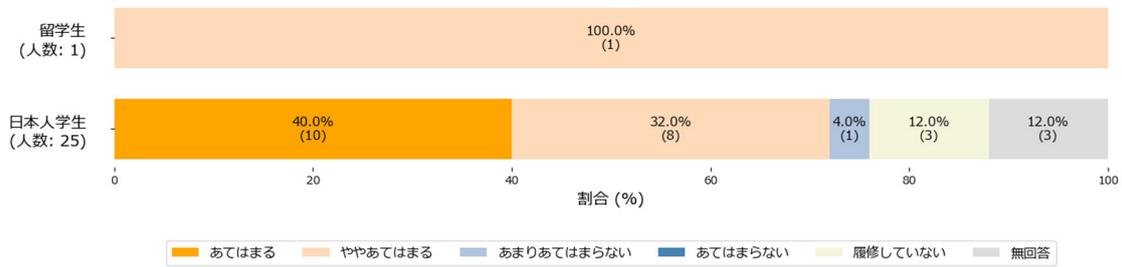
4.4 4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた



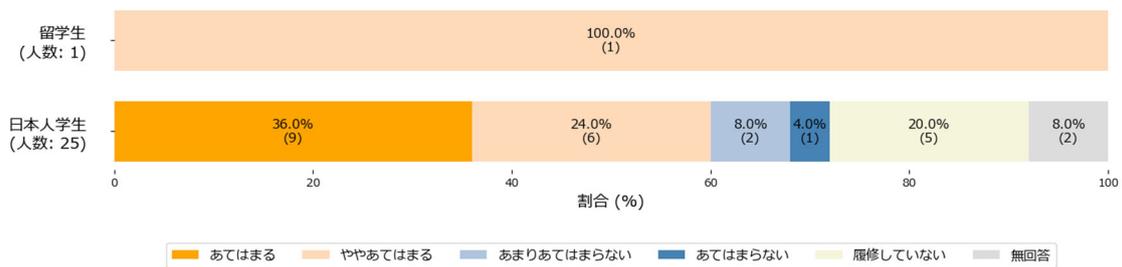
4.5 5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している



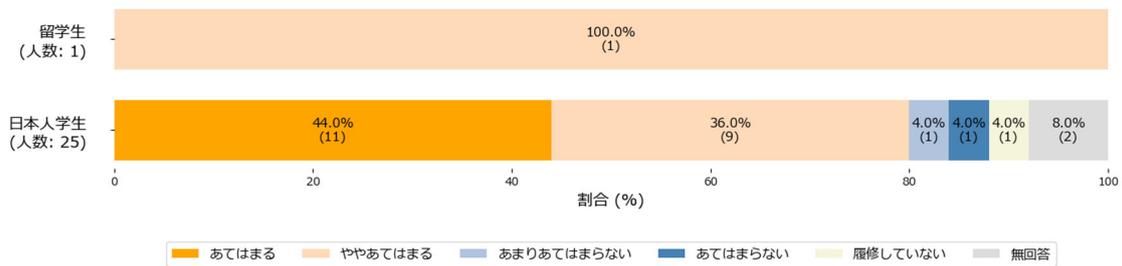
4.6 6) ★文系教養科目の授業に対して満足している



4.7 7) ★キャリア科目の授業に対して満足している

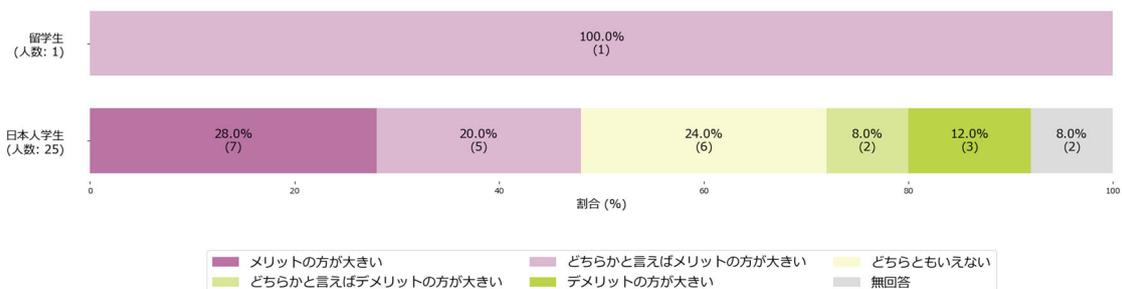


4.8 8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している



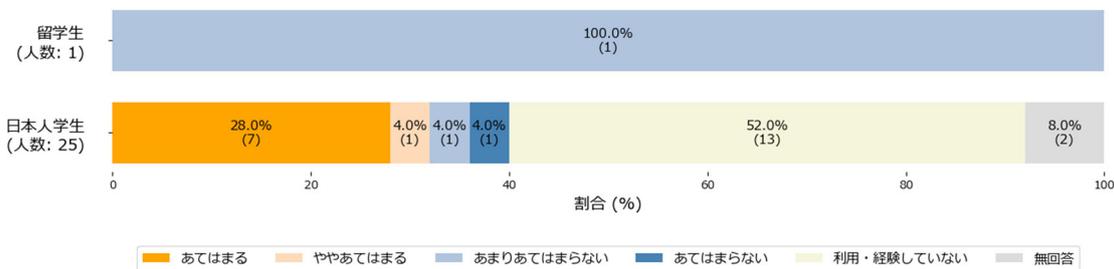
5. 問4. 英語による授業実施について

5.1 1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

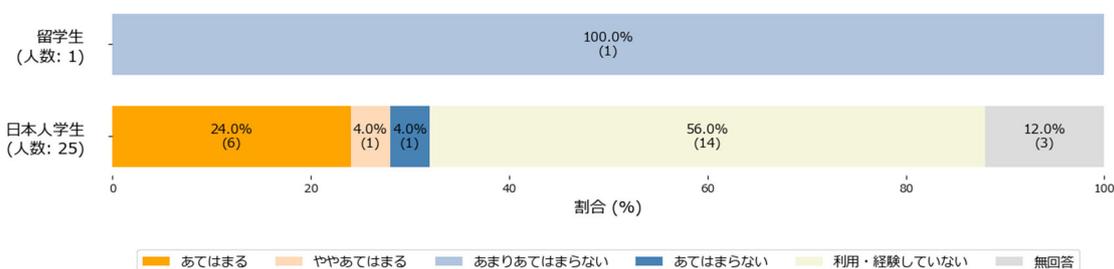


6. 問5. クォーター制及び学外活動に関して

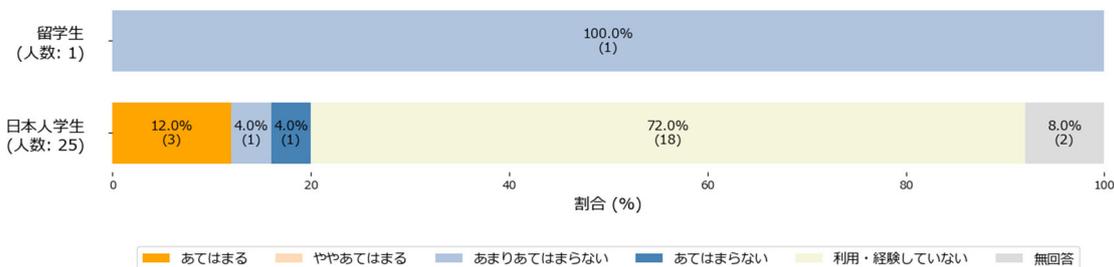
6.1 1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している



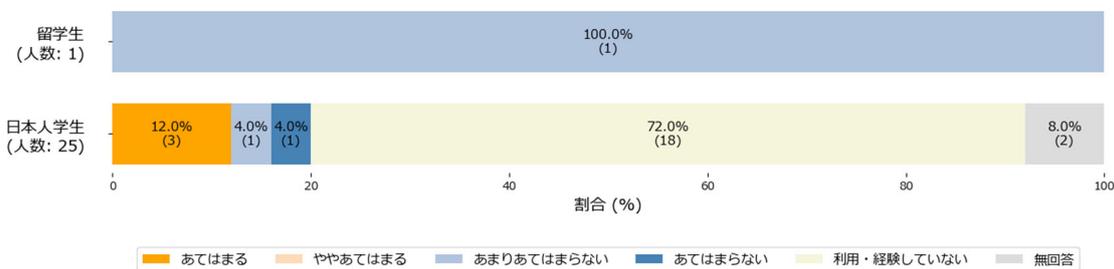
6.2 2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している



6.3 3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる

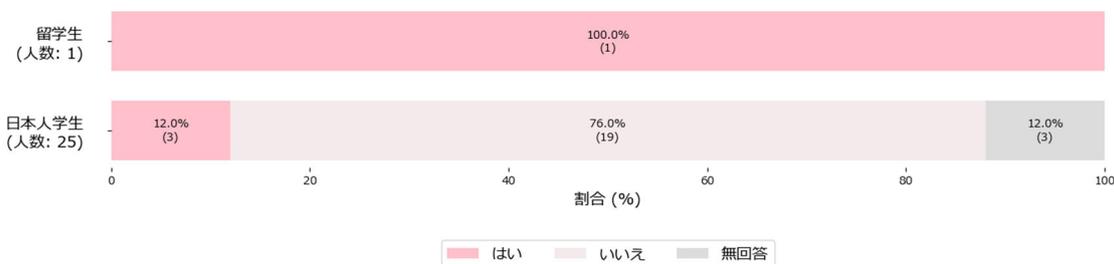


6.4 4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる

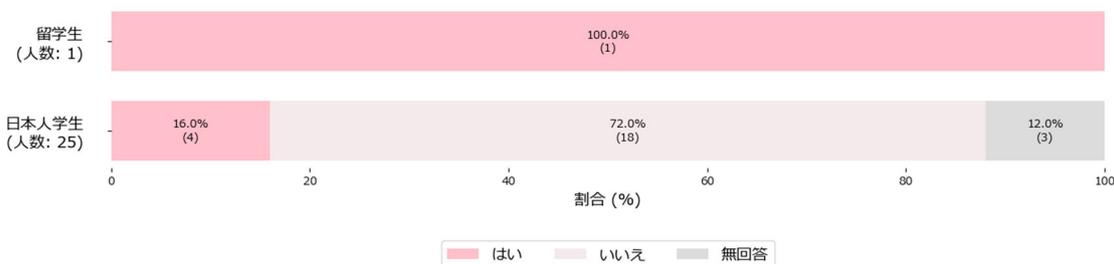


6.5 5) 在学中に、本学が定めた「国際経験」を、留学、国際会議での発表、留学生との交流、外国人教員・研究者による講義や講演への参加などにより修得した

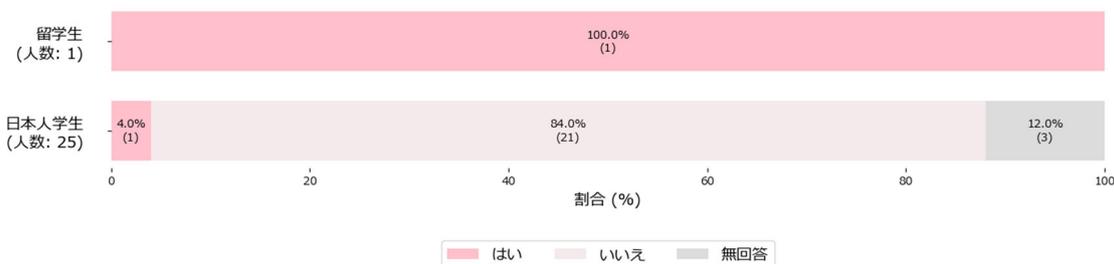
- 「国際経験」は、要件を満たして修得したことを、ポートフォリオを介して大学が確認して正式に認定するものです。



6.6 6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある

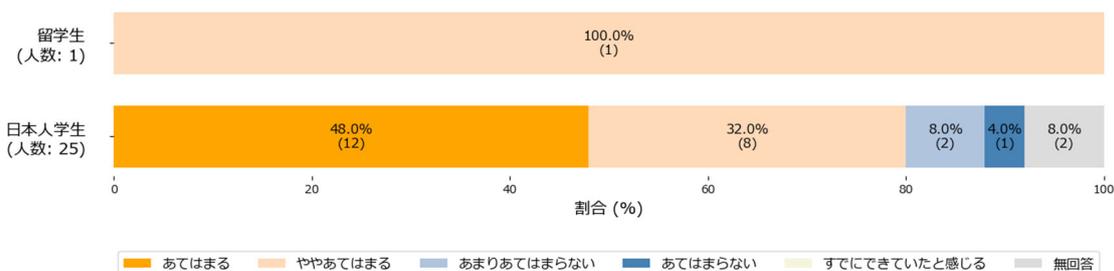


6.7 7) ボランティア活動をしたことがある

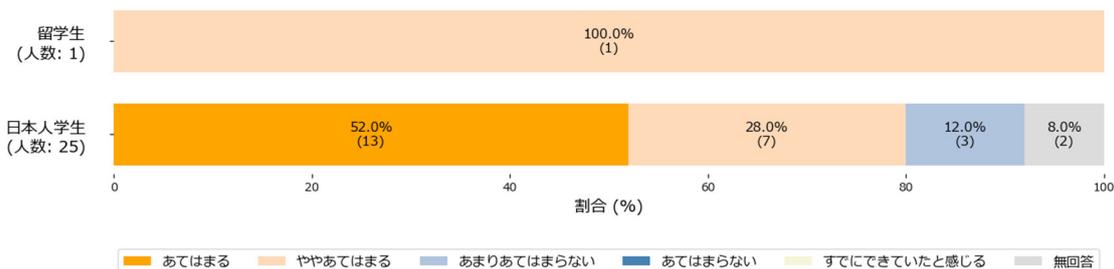


7. 問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

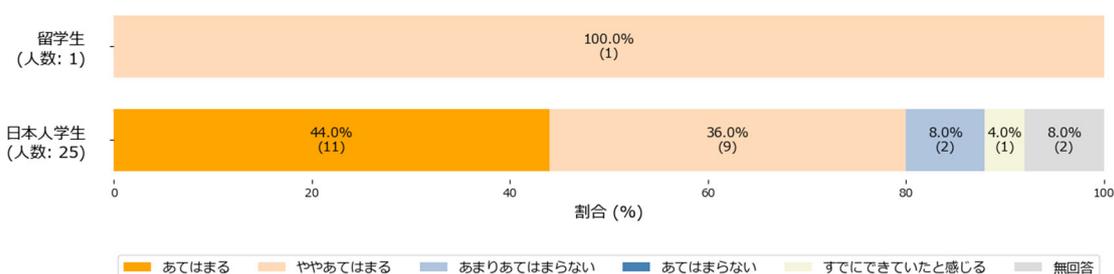
7.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を経済社会システムにおいて応用できるようになった



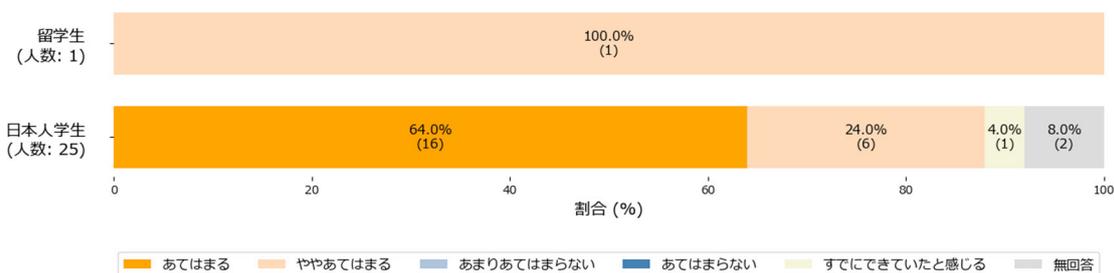
7.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



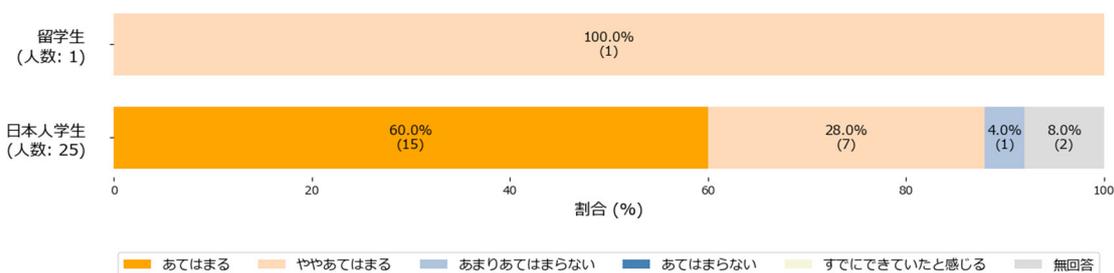
7.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



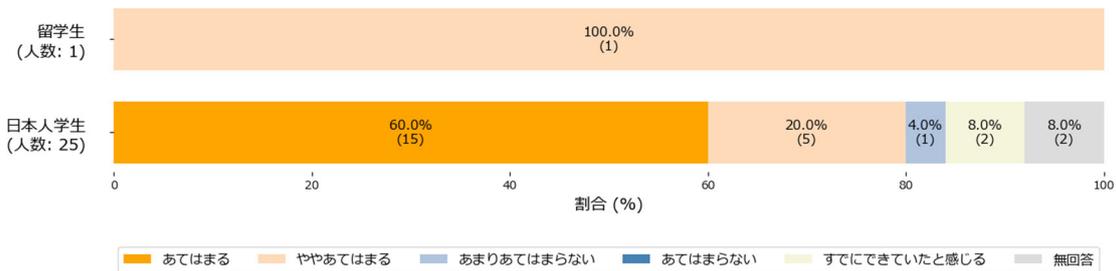
7.4 4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった



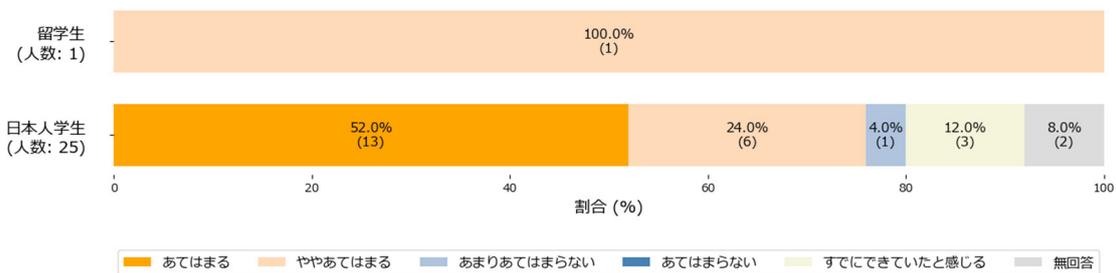
7.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった



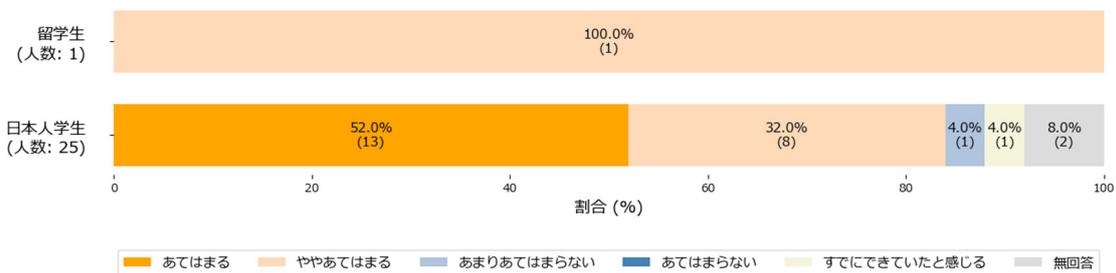
7.6 6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった



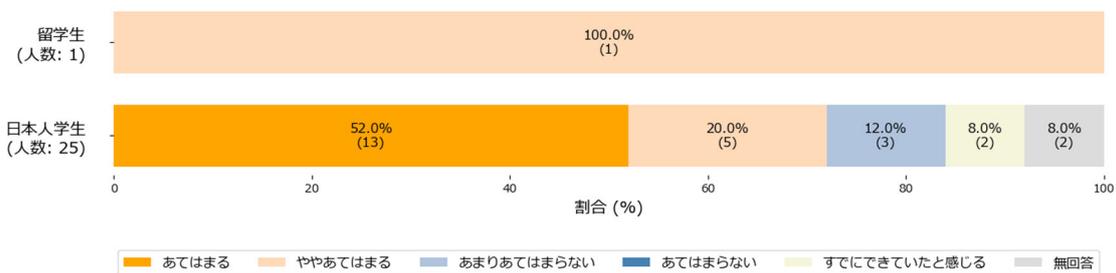
7.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせることができるようになった



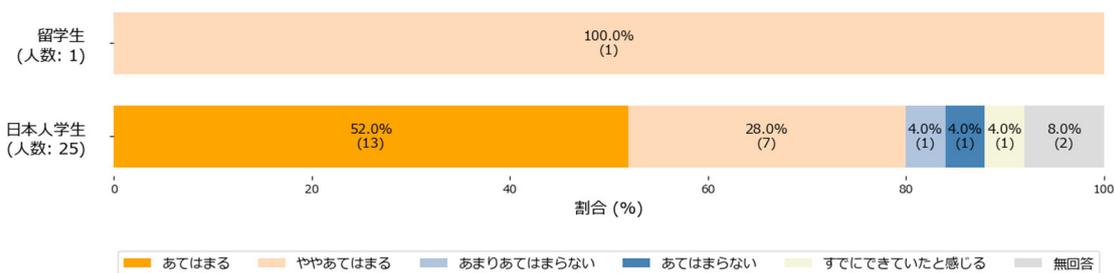
7.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



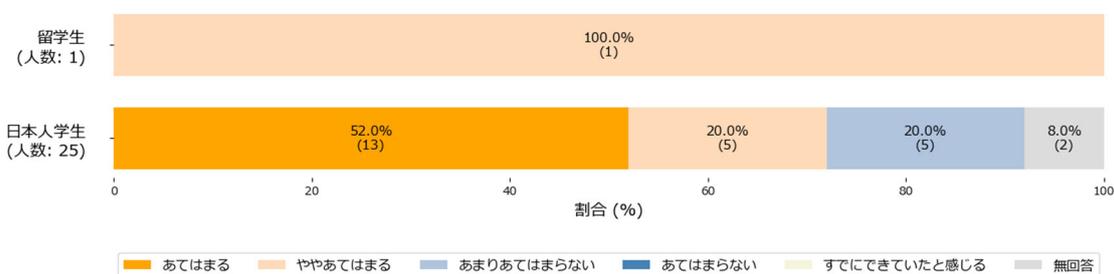
7.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった



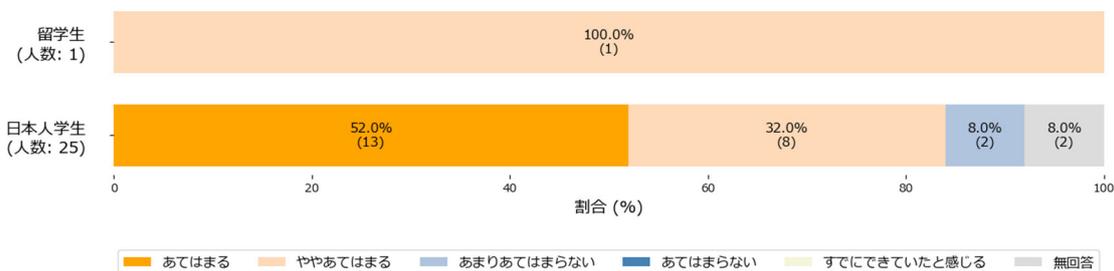
7.10 10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた



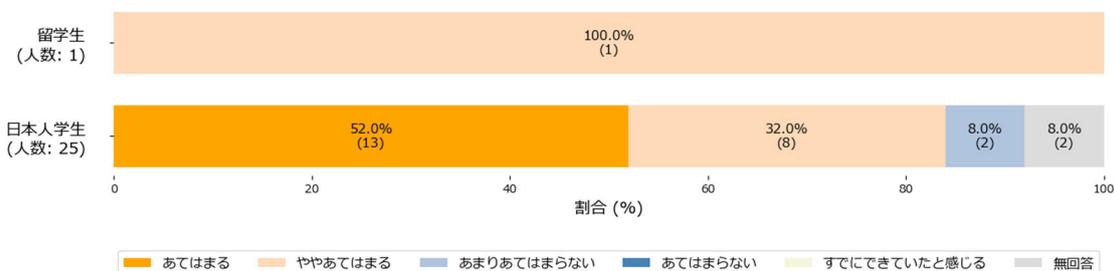
7.11 11) 科学技術と産業に関するイノベーションの創出やビジョンの策定ができるようになった



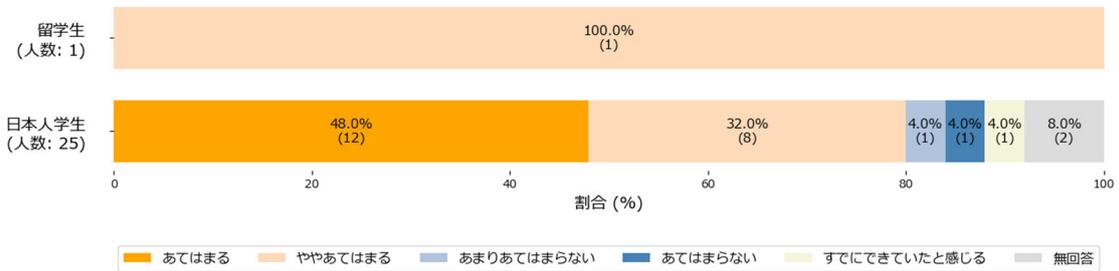
7.12 12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった



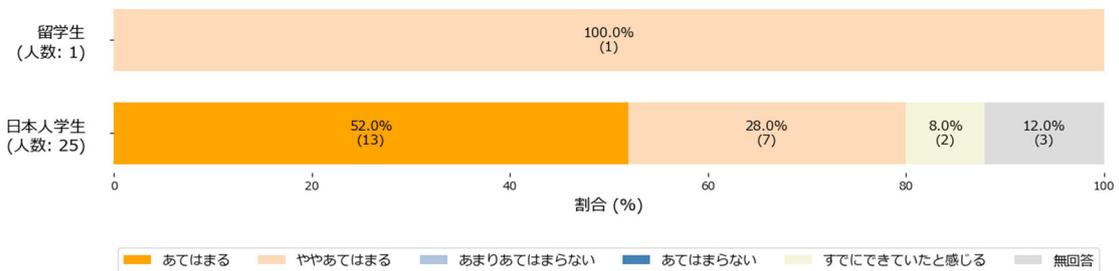
7.13 13) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった



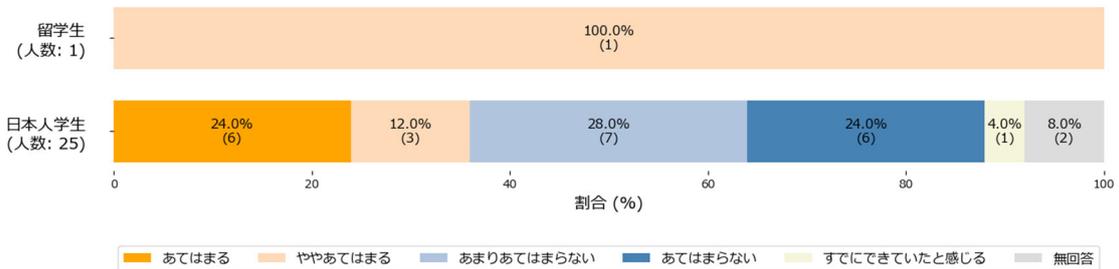
7.14 14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた



7.15 15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった



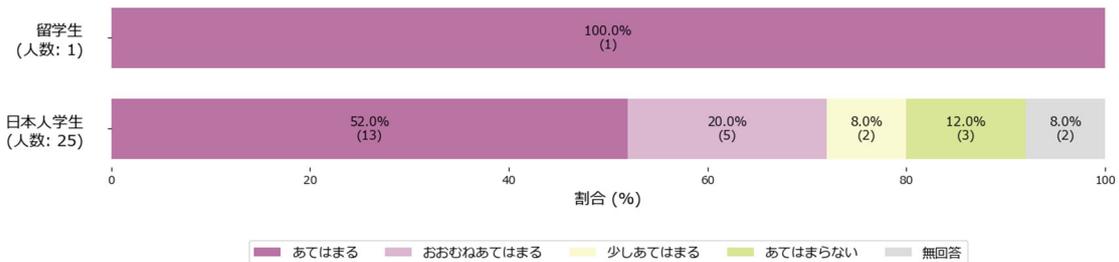
7.16 16) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった



8. 問7. 大学院課程の修了後について

8.1 1) 将来的に国際的な業務や活動*をすることに興味を感じていますか。

- *：ここでいう「国際的な業務や活動」は、海外に居住して行う業務や活動に加えて、国内に居住しつつ個人で行う、あるいは所属企業や機関等からの指示で行う国際関連の業務や活動なども含んだ意味で使っているので注意してください。



8.2 2) 将来的に起業*することに関心を感じていますか。

- *：ここでいう「起業」は、本学が定めた広義のアントレプレナーシップに関係したものであり、スタートアップに限らず、開業、企業、大学、政府機関、国際機関、保健・医療機関、NGO/NPOなどの多様な所属組織において、新たな事業や取組みを始めること、あるいは新しい研究分野の提案やその研究の実施・展開を図ることも含んだ意味で使っているので注意してください。

